

たんぽぽ

第4号 令和2年3月

社会福祉法人 岩手愛児会
たんぽぽ病児保育所
〒020-0102
盛岡市上田字松屋敷11-14
Tel 019-662-5619
携帯 070-1736-3793
E-mail tanpopo@aiji.or.jp



保護者の皆様、お子様の御入園入学進級おめでとうございます

盛岡市の病児保育事業施設の一つ「たんぽぽ病児保育所」は、生後2ヶ月から小学校卒業するまで利用出来ます。4月から新築へ移ります。今までの場所より左上方へ引っ越します。今までと変わらずご利用ください。

♡ 病児保育の1日 ♡

7:30～携帯電話で受付070-1736-3793 前日予約の方のキャンセルがあれば当日の利用も可。
(電話で受付けています。来所の予約受付はしていません)

8:00～病児の受入れ保育開始・・・小児科診断で病児保育許可ある状態での預かりとなります。

9:00～隔離保育入室 (予約後、症状の変化が起これば再度診察が必要な場合もございます)

10:00～おやつ(給食提供です)・・・症状やアレルギー体質に合わせて食べます。

11:20～昼食(給食提供です。赤ちゃんは離乳食を提供。)・・・ミルクと哺乳瓶は持参ください。

12:00～15:00 午睡・安静時間・・・学童の方は宿題など持参OK。体調に合わせて安静保持します。

15:00～おやつ

・・・ 順にお迎え対応

(17:00まで隔離室の保育終了退室)

18:00 病児保育終了退室・・・病気の子ども保育につき延長はありません。閉所と電話受付終了。

※感染性の病気は利用状況で隔離室保育の利用となります(9:00～17:00まで)

※初回利用で2歳未満の方は、慣しのため8時間以内での利用をお願いしています。

※病気がない元気な子どもの一時預かりはしていません。

病気は高熱そのものではなく、原因である病気です。熱が何故でているのか、そのほかの症状を気にかけて。熱がなくても、ぐったりしていたり、顔色が悪いときや咳が出て呼吸が苦しそう等、この方が重症の可能性があります。重要なのは、体温の数字そのものではなく、どんな症状でどのように変化しているかです。熱が上がっているのか、咳がひどくなっているか良くなっているか、嘔吐や下痢がひどくなっているのか、食事や睡眠はとれているか、そういう症状の全体に目を向けていただきたいと思います。

病児保育は、病気の回復期に至っていないことから集団保育が困難であり、かつ、保護者の勤務等の都合により家庭で保育が困難な児童であって市町村が必要と認めた乳幼児と小学校に就学している児童が対象。

「当面症状の急変は認められない」ことが前提とされ医師の診断評価を正確に把握する必要があります。

保育施設や小学校での体調不良は、初発期であり、今後の病状の変化が見込まれる状況にあります。様子を見る時間も必要となります。たとえばインフルエンザ検査も発熱12時間経過で判定したり、すぐに診断付かない場合もあります。

病児保育中に留意していることは、「当面症状の急変は認められない」と診断し、病児保育の許可がでた病児であっても病状が変化しやすい乳幼児であること、あるいは、初発期で今後の病状の変化が見込まれる体調不良の子どもを保育していることに留意し、呼吸困難や脱水に陥らないように、また、けいれんや意識障害などの兆候を見逃すことのないように、細かな観察と養護が求められます。

重症で治療が必要な状態での利用は出来ません。食べない、ぐったりしていたり、脱水の場合は点滴治療が必要です。高熱が連日続く状態の場合は、血液検査の必要があり受診の対象です。少しでも心配な要素がある場合は受診してください。医師の診断で安心に繋がります。

病児保育での乳幼児の要求・・・もしも、言葉をしゃべれたら・・・

幼い子ども達の心の声に寄り添う病児保育、病気の時に子どもが1日を満足して過ごすことが目的。「たんぽぽは、病院ではないよ。あなたが今日一日をハッピーに過ごすところだよ。安全な場所だよ」と保育者のメッセージが伝わるように保育開始時から一日中留意しています。

初めてのお子さんは、大抵は泣くので、しっかりと受け止めます。おんぶや抱っこのアタッチメントで落ち着くまで寄り添います。落ち着くと、我を忘れて凝視できる物に興味が出てきて、本来の探索をして遊ぶ気持ちを蘇らせ、遊びたい、動きたい気持ちになった時におんぶや抱っこから離れ遊び出します。病児保育所は子どもが遊びたくなる環境を用意しております。慣れてくると適度な距離で保育者大人が居ることを感じながら、様々なおもちゃを探索し自由に選んで遊べるようになります。子ども一人ひとりの満足の表情を確認して居ます。また、病状体調に合わせた対応と遊び方の工夫をして保育看護しております。

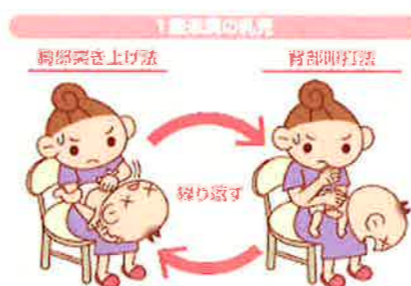
早く登園させたい。もう一日ゆっくり静養をさせてお子さんに無理をさせずに病児保育を上手に利用して休ませてあげてください。子どもはもうちょっと休ませてほしい、とは言いませんね。無邪気な子どもは遊びたいのですから張り切って遊ぶ環境に置かれたら無心で一息懸命に遊びます。再発熱もあり得ることです。子どもの病気を長引かせない為に、しっかりと回復するまで休ませてあげましょう。

乳幼児の食事と遊び、気を付けよう誤飲誤嚥！

乳児の離乳開始で、生後月歳にとらわれず、子どもの飲み込み状況とかみ砕き状況に応じて食事を与えましょう。柔らかいカボチャ煮やジャガイモも角があり噛み砕く事ができなければ窒息する可能性があります。赤ちゃんの内は、潰して与えましょう。1歳になっても飲み込みが苦手なお子さんもあります。お子さんの特徴を把握していますか？大きくなったから大丈夫と油断しないようにブドウ・ミニトマト・お団子・ソーセージ・ナッツ類・カップゼリーなどは、刻んで手間をかけてあげましょう。幼い時期はあっという間に過ぎ去ります。窒息してからでは後戻り出来ません。後悔しても取り返しがつきません。お子さんを大切に思って少々過保護なくらいで良いと思います。乳幼児の間は注意が必要です。

玩具でも誤飲誤嚥が起きています。コイン・ビー玉・スーパーボール・ボタン電池・ゴム風船・透明なシートなど。赤ちゃんは、口に入れて物を確認して遊びます。兄弟がおるお子さんが一緒に遊んでいるときは特に気を配りましょう。ゴム風船や透明なシートは、欠片を飲み込む場合があります。ボタン電池は食道や胃に停滞すると潰瘍ができることもあります。小さなお子さんの遊びに合わせて口に入るものは避けて遊ぶようにしましょう。

< 誤嚥・異物による窒息時の応急処置 >



- ① 片手で後頭部まで手のひらを拡げて支え、心肺蘇生法の胸部圧迫と同じように圧迫する。
 - ② 次に片手で体を支え、手のひらであごをしっかりと支える。そして背中を手の付け根でしっかりと叩きましょう。
- (①～②をトントン叩き繰り返す)



- ① 背後から両腕を回して、子どものみぞおちの下で握り拳にして、腹部の上方へ押し上げます。
- (ギュッと圧迫することを繰り返す)